

事業所名

多機能型通所支援事業所さくら

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

1 月

27 日

法人（事業所）理念		①お子様の療育により、社会的自立ができるように努めます。 ②親後さんの悩みに寄り添い心身の負担が軽減できるように努めます。									
支援方針		①自立した日常生活を営むために必要な訓練 ②創作的活動 ③体力づくり ④学校との連携・協働による支援									
営業時間		平日 (月～金)	9 時	00 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		土曜/祝日 /長期休暇	8 時	30 分	から	16 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活スキルとして、靴をそろえる練習やカバンの中や持ち物の管理ができるようにする。 学校に継続して行くことができるよう、児童の日常的な気持ちを自然と発信できるような環境整備。 避難訓練や交通安全勉強会を定期的に行って、災害への関心や対応について学ぶ機会の提供。 感染症予防の為に手洗いや、熱中症対策の重要性、調理体験の消毒の意味などを実際に活動を通して伝えながら体調管理全般を学ぶ機会の提供。 買い物体験を行って、自宅や事業所で必要なものを電卓で計算しながら購入し、将来的に自立した社会生活を送ることができるよう支援。 									
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 季節ごとのイベントに合わせた特別な運動プログラム（例：夏は水辺遊び、秋は散歩しながら紅葉狩りなど）。 屋内でお手本を見ながら楽しくできるダンスやラジオ体操などの活動。 大工体験をしながら怪我をしないように安全に気をつけながら丁寧に作業を行う。 粗大運動（ボール遊びや縄跳び、トランポリンなど）や微細運動（制作でのハサミの操作、裁縫での針と糸、洗濯物たたみ、ブロック遊び）を行った運動支援。 学習の姿勢や運動感覚を養うための体幹運動姿勢の補助や声掛け。 									
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 農業体験（土作りや野菜の収穫作業）を通じて自然環境への関心を深める。また、収穫した野菜を用いて何を作ることができるか考えて実際に調理体験を行って食育を行う。 実験（ホウ砂を使った宝石作りや手作りアイス、片栗粉を使った握ると固まる液体など）を実際に行って、科学への興味や身近な事象への関心を持つ活動。 個別課題（時計の読み方、数の概念、金銭の理解、四則演算、ひらがな、カタカナ、名前の書き取り）を行い、児童のレベルに合わせた学習支援の実施。 曜日感覚や日付の読み方、時間間隔、天気、気温の理解を目指すスキルワークの実施と日常の中での実践。 PCソフトやタブレット、ワークなどを用いたビジョントレーニングを行い、動体視力やワーキングメモリの向上。 									
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> カードを使った感情や状態（嬉しい、悲しい、暑い、寒いなど）を表出する練習。カードに書かれた動物や食べ物など身の回りの物の名称を覚える練習。 実際に電話を使って公衆電話や携帯電話を使った電話での応答の練習。 ルールやお約束をわかりやすく理解を促すため、絵やカードを使った視覚的な掲示物の制作。 グループでのカード遊びやボードゲームを用いて、集団への参加や遊びを通じた社会性の発達と人間関係の形成を行う。 言葉を使ったゲーム（しりとりやマジカルバナナ、類似語探し）を通じて、楽しみながら言語力を向上させる活動の実施。 									
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ごっこ遊びや役割分担のある共同遊びを通して、ルールの理解や人間関係の形成。 農業体験や毎日の清掃を通じて、役割分担を日常生活の中で意識することができるような支援。 他社と健全な関わりを持つことができるような、言葉遣いや挨拶など基本的な取り組みを自主的にできるような声掛け。 誕生日会やスキルトレーニングを組み込み、人前で発言することが自然とできるような取り組み。 日々グループで活動を行い、違うグループになった児童同士でも調和して活動ができるような支援。 									
家族支援	【家族交流会】半年ごと年2回行い、簡単なゲームやレクリエーション、芋ほり体験を通して、他の家族と交流する機会の提供。 事業所の支援を共有し、家族と学校と事業所の連携ができるような取り組み。	移行支援	主に中学卒業後の進路や、児童に合ったその他の福祉サービスの利用の模索、学校や相談支援事業所との連携を行った児童のライフステージの変化に合わせた支援など。								
地域支援・地域連携	地域の行事や外部のイベントに積極的に参加し、職業体験や地域交流を積極的に行う。避難訓練では地域の消防署に訪問し、訓練や学習を通じた連携を行う。	職員の質の向上	職員研修や外部研修を行って、毎年児童の正しい対応方法について学習を実施。定期的な教材や資料の共有を行った支援の質の向上を図るための情報提供。								
主な行事等	1月：初詣、農業体験/2月：豆まき、バレンタイン/3月：ひなまつり、おやつ作り/4月：家族交流会、花植え/5月：交通安全勉強会、芋の苗植え/6月：防災訓練、買い物体験 7月：川遊び、夏野菜収穫/8月：ボウリング大会、秋野菜の準備/9月：防災訓練、おやつづくり/10月：家族交流会、ハロウィンパーティ 11月：防災訓練、大工体験、紅葉狩り、学園祭/12月：クリスマス会、年賀状作成、農業体験、動物園訪問										